

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】					観光地域デザイン学士教育プログラム			
URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
	自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	沖縄や太平洋島嶼地域の観光を科学的かつ実践的に考究することができる能力	○		○		○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 沖縄や太平洋島嶼地域の観光が抱える課題を解決するために、グローバルな思考のもと、自律的に情報を収集し、分析する能力を身に付ける。							
	持続可能な観光による地域振興や産業振興の包括的マネジメントを創造的に行う能力		○	○	○	○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 持続可能な観光を通じた地域振興や産業振興において、産学官の協働に必要な社会性やコミュニケーション・スキルを実装し、多様な情報を活用しながら、包括的マネジメントを実践する能力を身に付ける。							
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)							
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)							
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								